

# Victory

NO.6

令和6年9月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

9月も終わります。

「暑さ寒さも彼岸まで」の慣用句さながら先日の風雨と共に、暑さは去りにけりという具合に空気が変わりました。とはいえ、例年であれば彼岸花をあちらこちらで見かける時期でもありますが、今年はまだその姿を目にする機会に恵まれません。やはり、今夏の猛暑が影響しているのでしょうか。

さて、毎年この時期は文化庁の「国語に関する世論調査」の前年度データが公表されます。

今回は、5年ごとに調査する「1ヶ月に読む本の冊数」の回答に大きな変化があったことが9月18日付けの各新聞でも取り上げられていました。2008年度以降実施されたこの質問への回答における「1冊も読まない」の回答割合は2018年度まで5割に満たっていなかったのに対し、2023年度は6割を超える回答だったことへの危惧が検証を通して伝わってきます。その原因は、スマートフォンやSNSなどの普及にあるとしています。スピーディで細切れの言葉に慣れすぎてしまうことが、長文を読むことそしてじっくり深く考える力を削いでしまっていることは、今回の調査結果はもちろん、脳科学の見地からも言われ続けています。



また、「擬態語」に関する項目も取り上げられていて、社会と共に言葉も変容していくことを改めて感じました。データからどんなことが見えてくるか、自分なりに考えてみる機会にしてみませんか。

↑「国語に関する世論調査」報告書はこちらのQRコードから見られます。

## 図書委員会より御礼とご報告

朝陽祭古本市へのご協力ありがとうございます

ございました。41,100円の売上でした。

売上は、公益財団法人宮崎県視覚障害者福祉協会と令和6年度台風10号災害義援金

へ寄附します。



ビブリオバトル校内選考会  
を実施しました。

9月13日（金）放課後、図書閲覧室で図書委員による司会進行で行いました。参加希望の高校2年生2名によるビブリオバトルは、どちらも本に代わってストーリーの魅力が語られ、約30名のオーディエンスを本の世界に誘う時間となりました。

結果は、伊坂幸太郎著『ゴールデンスランバー』（新潮社）がチャンプ本に選ばれ、紹介した日高洸城君が10月12日に実施される宮崎県高等学校ビブリオバトル大会に出場します。





# 授業で図書館を使う

## 中3探究 (2クラス) 種子島・屋久島研修事前調べ学習

研修目的は、現地の「植生」をフィールド調査することです。そのために必要な情報を調べて知識の引き出しを充実させることが大切になります。今回は、学習の最初だったので、図書館での資料の探し方、インターネットを使っての情報の探し方についてレクチャーしました。

参考図書を活用して、調べるテーマの概要を知ること。また、官公庁のHPから信頼性が高くかつ鮮度のいい情報を概要も含めて収集することも伝えました。さらに、情報源（参考文献）を記録することの重要性も。

周辺知識を調べていく過程で、究極の「知りたい！調査対象にしたい」タネが発見できるといいですね。



## 扉を開こう、新たな世界が君を待っている

今回の展示コーナーは、図書委員が選んだ気になるニュースから関連図書をセレクトしています。

宮日データベースで記事検索をし、興味関心のあるニュースをダウンロード。記事と関連のある本を書架から選書。さらに、SDGsの17の指標に当てはめて展示しています。

パリ五輪、8月の地震、政治などからそこから見える様々な問題をそれぞれが考え、選書しています。視点が違えば捉え方や広がりも変わることを教えてくれる展示になっていると思います。

この展示を通して、あなたはどんな問題にフォーカスしますか？



# 県立図書館と西高生の連携

宮崎県立図書館から依頼を受け、7月に呼びかけたところ本校図書委員を中心とした有志9名が企画展示コーナーを手掛けてくれることになりました。

1人でも多くの高校生に県立図書館を学習スペースとしてだけでなく、利用してほしいという図書館側の目的から、



意見を出し合い、4つのカテゴリーで展示を企画していきました。

- \* 西高図書委員会活動の様子
- \* 西高生が選ぶ心に刻まれた一冊
- \* きみろんコーナー
- \* 図書委員有志の読書体験記



どうすれば、立ち止まって見てくれるかアイデアを出し合い、限られた時間の中で形作っていきました。

古本市の準備もある中での活動は、大変だったと思いますが、思いの伝わる熱い展示コーナーが完成しています。



展示期間は、9月10日(火)から10月14日(月)です。是非、足を運んで見てください。